

訓練カリキュラム

訓練実施機関名: KECエデュノベーション株式会社

訓練実施施設名: KECキャリア教育センター

問合せ先住所:

〒 5 3 0 - 0 0 0 2

大阪府大阪市北区曽根崎新地2丁目6番12号 大阪小学館ビル9階

問合せ電話番号: 06-6147-6633

■土日祝日訓練の有無:

 全日あり / 一部あり / なし

■法定講習に係る補講:

 あり / なし / 有料 / 無料

■相モデルによる訓練:

 あり / なし

■合同開催による訓練:

 あり / なし

| | | | | | |
|---|--|---|--|----------------------------------|------------|
| 訓練の種類 | 実践コース (02 IT分野) | | | 就職を想定する職業・職種 | |
| | 職場復帰支援コース (※基礎コースのみ) | 託児サービスコース | 短時間訓練コース (月80時間以上100時間未満) | Javaプログラマー、ソフトウェアプログラマー | |
| 訓練科名 | 未経験からのJava・Pythonプログラミング実践科 | | | | |
| 募集期間(予定) | 令和8年7月3日 ~ 令和8年7月23日 | | | | |
| 選考日(予定) | 令和8年7月31日 | | | | |
| 選考方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 面接 | <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 | その他 () | | |
| 選考結果通知日 | 令和8年8月7日 | | | | |
| 訓練期間 | 令和8年8月25日 ~ 令和8年12月24日 (4 か月) | | | (訓練日数 73 日) | |
| 訓練時間 | 10 時 10 分 ~ 16 時 35 分 | | | 訓練定員 | 15 名 |
| 訓練対象者の条件 | パソコンの基本操作ができる方 | | | | |
| 訓練推薦者 (特定の者を想定する場合のみ) | <input type="checkbox"/> 新規学校卒業者 <input type="checkbox"/> 被災者 | <input type="checkbox"/> ニート等の若者 <input type="checkbox"/> 外国人 | <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> その他 () | <input type="checkbox"/> 母子家庭の母等 | |
| 訓練目標 (仕上がり像) | Excelマクロ・VBAの基本スキル、Javaプログラミング、WebアプリケーションおよびPythonプログラムに関する知識、技能・技術を習得し、システム開発に必要なスキルを習得する。 | | | | |
| 訓練修了後に取得 できる資格 | 名称 (Oracle Certified Java Programmer, Bronze SE 認定資格) | 認定機関 (日本オラクル) | <input checked="" type="checkbox"/> | 任意受験 | |
| | 名称 (Oracle Certified Java Programmer, Silver SE 17 認定資格) | 認定機関 (日本オラクル) | <input checked="" type="checkbox"/> | 任意受験 | |
| | 名称 (Excel VBA Basic) | 認定機関 (オデッセイコミュニケーションズ) | <input checked="" type="checkbox"/> | 任意受験 | |
| | 名称 (Python 3 エンジニア認定基礎試験合格者) | 認定機関 (一般社団法人Pythonエンジニア育成推進協会) | <input checked="" type="checkbox"/> | 任意受験 | |
| | 名称 () | 認定機関 () | <input type="checkbox"/> | 任意受験 | |
| ① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入) | | | | | |
| ② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入) | | | | | |
| ③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入) | | | | | |
| 訓練概要 | Excelマクロ・VBAの基本スキル、開発環境の構築、Java言語によりプログラミング・オブジェクト指向を習得する。また、AI分野で活用されているPythonの基本・応用操作を習得する。【IT資格、DSS対応】※日によって訓練時間が異なります。詳細は訓練実施機関へお問合せ下さい。 | | | | |
| 訓練内容 | 科目 | 科目の内容 | | | 訓練時間 |
| | 入校式・オリエンテーション・修了式 | 入校式、訓練の概要説明(2H)、修了式(2H) | | | - |
| 学科 | 安全衛生 | VDT作業と安全衛生 | | | 2時間 |
| | 就職支援 | 求人情報の収集の仕方、履歴書・職務経歴書の作成指導、面接指導 | | | 18時間 |
| | Excel VBA プログラミング概論 | Excel VBAの特性、VBAの開発環境、マクロセキュリティ、VBAの基本文法 | | | 6時間 |
| | Javaプログラミング概論 | 開発環境の構築、プロジェクトとパッケージ、プログラムの成り立ち、プログラムの書き方 | | | 6時間 |
| | Pythonプログラミング概論 | Pythonの特性、画面への表示とキーボードの表示 | | | 6時間 |
| | Webアプリケーション概論 | Webの基礎知識、Spring Bootとアプリケーションサーバ、Javaのエディションについて | | | 6時間 |
| | 実技 | Javaプログラミング基礎演習 | プログラムの作成と実行、データ型、変数、演算子と計算、標準クラスの利用、条件分岐、配列、多次元配列、繰り返し、メソッド | | |
| Javaプログラミング実践演習 | | Java言語によるプログラミング(計算、変数、データ型、if/switchによる条件分岐、for/whileによる繰り返し、配列操作、メソッド) | | | 42時間 |
| Javaオブジェクト指向プログラミング基礎演習 | | オブジェクト指向の基礎(オブジェクト、クラス、アクセス修飾、メソッド、コンストラクタ、カプセル化、クラス変数、オーバーロード、継承) | | | 36時間 |
| Javaオブジェクト指向プログラミング実践演習 | | 継承、多態性(ポリモーフィズム)、パッケージ、抽象クラス、インタフェース、例外処理(try~catch~finally)、ファイルの入出力、文字列処理、コレクションフレームワークとリスト、ストリーム、マルチスレッド | | | 54時間 |
| Excel VBA プログラミング実践演習 | | VBA基本的構造、変数、関数の基本、型変換、分岐文、ループ文、配列、プロシージャ、モジュール、エラー処理、デバッグ | | | 24時間 |
| Pythonプログラミング基礎演習 | | 変数、四則演算、条件分岐、While文、オブジェクトと型、文字列 | | | 30時間 |
| Pythonプログラミング実践演習 | | リスト、タプル、関数、モジュールとパッケージ、クラス、例外処理、ファイル処理 | | | 54時間 |
| Webアプリケーション基礎演習 | | Spring Bootの基本、プロジェクトの活用、テンプレートエンジンの活用について | | | 24時間 |
| Webアプリケーション実践演習 | | データベース、SpringとJPAの関係、エンティティの連携 | | | 36時間 |
| ビジネス実践演習 | | 実際の業務を想定した開発現場でのグループワーク(コンセンサス、ロジカルシンキング・インバスケッ、KJ法、ブレインストーミング、クレーム対応) | | | 6時間 |
| 企業実習 | <input checked="" type="checkbox"/> 実施しない | 実施する | | | |
| 職場見学、職場体験、職業人講話 | 【職業人講話】「今後のIT企業でのSEの役割とキャリアビジョンについて」(6H×1) | | | 6時間 | |
| 訓練時間総合計 | 410時間 | 学科 44時間 | 実技 360時間 | 企業実習 0時間 | 職場見学等 6時間 |
| 受講者の負担する費用 | 教科書代 | 16,500円 | | | 合計 16,500円 |
| | その他 () | | | | |
| | 備考 () | | | | |
| 指導方法 | 訓練形態(個別指導・補講を除く) | <input checked="" type="checkbox"/> 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する | | | |
| | | <input type="checkbox"/> オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混在型) | <input type="checkbox"/> オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型) | オンライン計 | 時間 |
| | 施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫 | プロジェクターを使用し、パソコンの画面をスクリーンに投影することで、受講生が講義内容やパソコン操作方法を視覚的に理解できるようにする。 | | | |
| 受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫 | 双方向的なコミュニケーションを促すことで、講師は受講生の習得状況を確認し、受講生が質問しやすい雰囲気醸成する。また、講師は演習時間に各受講生を回り、習得状況の確認、個別質問対応、個別フォロー等を行う。 | | | | |

訓練実施施設所在地地図

訓練実施施設住所: 〒 530-0002 大阪府大阪市北区曽根崎新地2丁目6番12号 大阪小学館ビル7階 梅田7A教室

